

1. Geriatrics (老年科) って、何？

Charioteer, this man is weak and slight, his flesh and blood withered, his skin wrinkled, white hair, lost teeth, and body very frail, he walks in pain upon a staff - who is he ?

from the book "The Life of the Buddha" ¹⁾

— Tenzin Chogyel

ぎょしゃ
馱者よ、あの男は力弱く、背が曲がり、肉はこけ、血色悪く、皮膚は皺だらけで、髪は白く、歯は抜け落ち、今にも転びそうで、棒をついて、痛みをかばいながら歩いている。彼にいったい何があったというのだ。

冒頭の言葉は、シャカ族の王子であったガウタマ・シッダータ（紀元前 500～600 年頃、のちの仏陀）が閉ざされて育った王宮の外に出て、生まれて初めて「老い」を目撃し、衝撃を受けたときに述べた言葉です。彼はその後、さらに「病」と「死」をも目撃し、苦しみから逃れるための救いを求めて出家を決意しました。このように「老い」は紀元前の昔から、人の苦しみの主原因の 1 つでした。しかし、社会全体として「老い」が問題になったのは、

人類の歴史上、つい最近のこと

です。というのも医療の発展や公衆衛生の改善にともなって人類の平均寿命が劇的に伸び、社会全体の高齢化が進んだのは、ここ 100 年あまりにすぎないからです（図 1）²⁾。

社会システムや医療は長い歴史を経て発展してきましたから、このような急激な平均寿命の伸びに対応するためには、従来のやり方では不十分であることは明らかです。そのような中で高齢者特有の問題に特化した専門科である**老年科 (geriatrics)** は、社会の強いニーズに答えるために発展してきました。

なお、老年科は 1909 年にニューヨークのマウントサイナイ病院の医師であった **Ignatz Leo Nascher** (1863～1944 年) が高齢者に対する医療を専門科とし

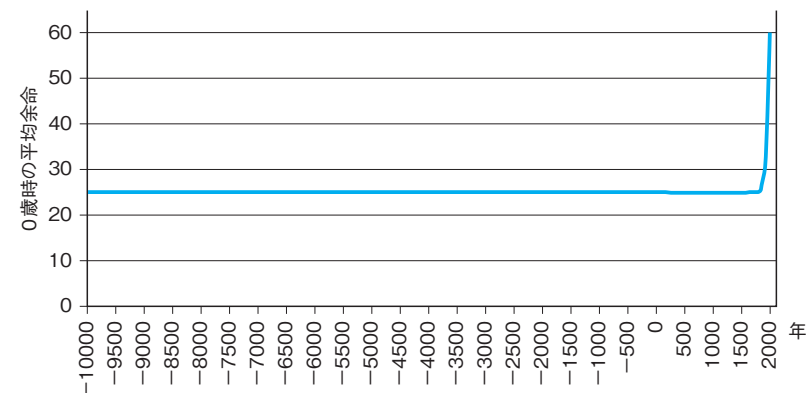


図 1 人類の平均寿命の変遷（紀元前 1 万年～2003 年）
1820 年以前の平均寿命は 20～30 年と推定される（平均寿命を 25 歳とした） 文献 2) より

て確立する必要性を説いたことから始まったといわれています。1942 年には**アメリカ老年医学会 (American Geriatrics Society ; AGS)** が設立され、現在会員数は約 6,000 人を数えます。多くの大学病院には老年科が設置され、老年病専門医も全米で 7,000 人以上います。

本音
トーク

1 老年科医は高齢者特有の問題に精通したプロ。 Geriatrician・9 カ条をご覧ください

ところで、老年科 (geriatrics) とは、何でしょうか…？ AGS はそれを「高齢者をケアするために特化した科」と定義しています。しかし、それでは何のことかさっぱりわかりません（じつは、僕も昔は老年科が何なのかさっぱり理解できませんでした（笑））。というのも、日本では内科医の担当する患者のほとんどが高齢者ですし、「高齢者の診かたなんて、知ってるわ」と思いこんでいたからです。でも実際は、

老年科は一般内科とは異なる特徴を数多くもつ

分野なんです。その違いを僕なりに説明してみます。